

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校
第149号

総務部
2016.09.08

第2回体験入学・親子ものづくり教室
各種資格取得に取り組む
インターハイ・全国大会で活躍

第2回体験入学が開催される

8月6日(土)、第2回中学生体験入学及び学校説明会が行われ、中学生150名・保護者86名・中学校教職員6名、合計242名の方が来校しました。第1回の体験入学と同様、工業科6学科から2つの学科を体験することで本校及び工業高校への理解が深まり、興味・関心につながることを目的としています。7月16日に行った第1回体験入学では、希望する学科を1つ選んで体験してもらいましたが、今回は希望学科を2つ選んでの体験となりました。第1回に参加し、他の学科も体験してみたいと再度参加した中学生や、今回の参加で「他の学科も体験してみたかった。」と本校及び工業高校に興味を持った中学生が多数いました。9月に入り、進路の方向性を決める大切な時期になりました。この2回の体験入学が、中学3年生の進路選択の参考になれば幸いです。



親子ものづくり教室開催

8月7日(日)、15回目を迎える『親子ものづくり教室』(韭崎市立大村記念図書館と共催)が本校実習室にて行われました。今年度は、電子機械科・システム工学科はソーラーカー、電気科はLEDライト、情報技術科はタングラム、環境化学科は消しゴムとストラップ、制御工学科はペットボトルエコライトと、学科の特徴を生かした題材が用意され、県内各地より24組の親子が作品づくりに参加しました。普段は教わる立場の本校生徒が先生役となり暑い中、小中学生の指導に当たりました。なかには夏休みの宿題にと意気込んでいた小学生もいて、親子で協力し楽しみながら製作していました。親子でふれあいながらのものづくりは、子供たちの夏休みの良い思い出になったようです。



資格試験に取り組む

フォークリフト技能講習

今年も猛暑の中、小規模ボイラー取扱技能講習(30名参加)、ガス溶接技能講習(73名参加)、移動式クレーン・玉かけ講習(24名参加)、フォークリフト運転技能講習1t以上(65名参加)が行われ、就職に直結する技能講習に多くの生徒が挑戦しました。近年は、求人条件として資格を指定してくる企業も多く、特に3年生は9月からの就職戦線に備え、真剣なまなざしで取り組んでいました。



と

第2種電気工事士

本校電気科は、2年次から第2種電気工事士資格の全員取得を目標としています。今年は筆記試験が6月5日(日)に実施され、3年生9名、2年生25名、システム工学科11名、制御工学科1名が合格しました。また7月に入ると、放課後及び土日も休みなく実技試験合格に向けた課外が行われ、7月24日(日)実施の本番に臨みました。この実技試験では44名が見事合格を果たし、合格率は96.5%と、ここ数年では最も優れた結果となりました。



インターハイ優勝のレスリング部

8月2日から4日間、広島県東広島市運動公園において全国高校総体レスリング競技が行われ、本校レスリング部が参加しました。春の選抜2位で第2シードとして参加した学校対抗戦では、負傷者が多く思うような結果を残すことができませんでした。一方、個人対抗戦には5階級にエントリーし、50kg級の稲葉海人君が6回戦を勝ち上がり山梨県勢2人目となるインターハイチャンピオンに輝きました。決勝戦では、昨年の優勝者を破って勝ち上がってきた東京都代表を相手に一進一退の接戦を展開、試合終了30秒前で逆転を許しましたが粘り強く反撃し、終了間際に相手の背中を取り返しポイントを上げての優勝でした。また、決勝進出を期待された66kg級の安楽龍馬君は、準決勝でラスト10秒までリードしていながらの攻撃ミスでまさかの逆転負けを喫して3位。60kg級の矢部和希君は2回戦を勝ち上がりましたが、3回戦で優勝者に惜敗しベスト16。84kg級の笹本雅人君は1回戦敗退。96kg級の古川裕貴君は、学校対抗戦で負った怪我のため試合を棄権する残念な結果でした。



学校対抗戦は主力の下山田周君を怪我で欠き、出場選手も負傷者続出と泣かされましたが、個人対抗戦では久々の複数メダル獲得となり、実りのあるインターハイでした。

インターハイ出場の山岳部

全国高校総体山岳競技は、8月6日～10日の日程で岡山県真庭市(上蒜山・下蒜山コース)、新庄村(毛無山コース)で開催され、本校山岳部は33位という結果を収めました。この競技は4人でチームを組み、安全登山に必要な体力・技術そして山の知識を問う学科試験も行われます。開会式後、天気図作成や気象学、山での救急法、大会山域の自然観察の試験、その後3泊4日の登山行動のなかで体力、歩行技術、読図技術、行動記録、テント設営・撤収、炊事、登山装備、マナーなど13もの項目が審査対象となり順位が決定します。

今年は3年生3人(小澤唯斗、中込大志、天谷岳)と2年生1人(上野朔夜)でチームが組まれました。テント設営地は標高約410mから山域でも標高約1200m、低山という過酷な条件に、熱中症で行動離脱するチームもあった中、本校選手は最後までよく健闘しました。ミスが目立った項目もありましたが、昨年の41位から順位を上げ、特に読図技術においては、下見調査の成果もあり正解率を85%に上げることができました。来年も県予選を突破し、インターハイでの入賞目指して日々の練習に取り組んでいきたいと思ひます。

